平成23年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年6月6日

上場会社名　株式会社フジ・コーポレーション　　上場取引所　大
コード番号　7605　URL　http://www.fujicorporation.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 遠藤　文樹
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部部長　(氏名) 多賀　睦実　TEL 022-348-3300
四半期報告書提出予定日　平成23年6月14日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年10月期第2四半期の業績(平成22年11月1日～平成23年4月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年10月期第2四半期	9,444	19.3	1,077	50.5	1,121	50.9	590	47.1
22年10月期第2四半期	7,913	9.8	715	19.4	743	24.2	401	19.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年10月期第2四半期	125.66	—
22年10月期第2四半期	85.39	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年10月期第2四半期	9,492	4,200	44.2	893.35
22年10月期	7,895	3,678	46.6	782.24

(参考) 自己資本　23年10月期第2四半期　4,200百万円　22年10月期　3,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年10月期	—	—	—	20.00	20.00
23年10月期	—	0.00			
23年10月期(予想)			—	15.00	15.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無
22年10月期期末配当金の内訳　:　普通配当　15円00銭　特別配当　5円00銭

3. 平成23年10月期の業績予想(平成22年11月1日～平成23年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	13.5	1,100	32.6	1,150	32.0	600	23.6	127.60

(注)当四半期における業績予想の修正有無　有

4. その他　（詳細は、【添付資料】4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年10月期2Q	4,840,000株	22年10月期	4,840,000株
② 期末自己株式数	23年10月期2Q	137,917株	22年10月期	137,917株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年10月期2Q	4,702,083株	22年10月期2Q	4,702,083株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.　当四半期の業績等に関する定性的情報 …… 2
(1) 経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 財政状態に関する定性的情報 …… 3
(3) 業績予想に関する定性的情報 …… 3
2.　その他の情報 …… 4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
3.　四半期財務諸表 …… 5
(1) 四半期貸借対照表 …… 5
(2) 四半期損益計算書 …… 7
【第２四半期累計期間】 …… 7
【第２四半期会計期間】 …… 8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 9
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… 10
(5) セグメント情報 …… 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
4.　補足情報 …… 11
販売の状況 …… 11

1.　当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第２四半期会計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により、被災地区やその周辺に多大な損害を受けました。さらに福島原発事故が、その評価を最悪のレベル７に認定され、いまだ予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社におきましても地震発生の３月は、本社及び一部被災地区の店舗において停電やＮＴＴ回線の不通など、インフラがダウンし、ネットワークにも支障が出ました。

しかし、全社員一丸となり復旧作業を行ったことで、早期に完全復旧させることができ、震災後においても前年を上回る売上を上げ、当第２四半期会計期間における売上高も前年を上回る結果を出すことができました。

この結果、当第２四半期累計期間の売上高は9,444百万円（前年同期比19.3％増）、営業利益は1,077百万円（前年同期比50.5％増）、経常利益は1,121百万円（前年同期比50.9％増）、四半期純利益は590百万円（前年同期比47.1％増）と増収増益となりました。

品種別売上高の状況は、タイヤは5,565百万円（前年同期比30.7％増）、ホイールは2,829百万円（前年同期比2.7％増）、用品は373百万円（前年同期比1.5％増）、作業料は675百万円（前年同期比27.0％増）となりました。また、経路別売上高の状況は、店舗売上高は5,442百万円（前年同期比15.0％増）、通販売上高は2,416百万円（前年同期比13.6％増）、業販売上高は1,585百万円（前年同期比50.2％増）となっております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ1,597百万円増加の9,492百万円となりました。また、負債は前事業年度末に比べ1,075百万円増加の5,292百万円、純資産は前事業年度末に比べ522百万円増加の4,200百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ33百万円増加の511百万円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、108百万円となりました。（前年同期は224百万円の獲得）

これは主に、税引前四半期純利益1,056百万円、減価償却費93百万円、売上債権の増加額271百万円、たな卸資産の増加額206百万円、仕入債務の減少額406百万円、法人税等の支払額266百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、221百万円となりました。（前年同期は271百万円の使用）

これは主に、有形固定資産の取得による支出160百万円、無形固定資産の取得による支出53百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、146百万円となりました。（前年同期は56百万円の使用）

これは主に、短期借入金の純増加額400百万円、長期借入金の返済による支出150百万円、配当金の支払額91百万円などによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第２四半期累計期間における売上高及び利益は、上述のとおり好調に推移をいたしました。

今後の業績見通しにつきましては、同日別途発表しております「平成23年10月期業績予想の修正」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況について著しい変化がないと認められるため、前事業年度において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

②税金費用の算出方法

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

(資産除去債務に関する会計基準等の適用)

当第１四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年３月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年３月31日)を適用しております。

これにより、当第２四半期累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ1,663千円減少し、税引前四半期純利益は25,011千円減少しております。また、当会計基準の適用開始による資産除去債務の変動額は61,546千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期会計期間末 （平成23年４月30日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年10月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	517,526	482,023
売掛金	917,656	623,567
商品	2,349,766	2,143,373
未収入金	1,222,805	369,816
その他	211,307	191,022
貸倒引当金	△70	△70
流動資産合計	5,218,992	3,809,733
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,484,271	1,322,636
減価償却累計額	△439,299	△422,539
建物（純額）	1,044,972	900,097
土地	1,499,448	1,499,448
その他	1,468,682	1,392,278
減価償却累計額	△791,415	△742,782
その他（純額）	677,267	649,496
有形固定資産合計	3,221,688	3,049,042
無形固定資産	100,965	76,824
投資その他の資産		
その他	951,265	960,007
貸倒引当金	－	△218
投資その他の資産合計	951,265	959,789
固定資産合計	4,273,919	4,085,656
資産合計	9,492,911	7,895,390

（単位：千円）

	当第２四半期会計期間末 （平成23年４月30日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年10月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,571,742	1,121,840
短期借入金	600,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	474,092	275,359
賞与引当金	37,990	36,010
前受金	180,212	157,151
その他	321,694	294,870
流動負債合計	3,485,731	2,385,231
固定負債		
長期借入金	1,255,000	1,405,000
退職給付引当金	45,144	39,993
資産除去債務	60,669	―
長期未払金	208,125	208,125
その他	237,650	178,893
固定負債合計	1,806,589	1,832,011
負債合計	5,292,320	4,217,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	531,400	531,400
資本剰余金	568,000	568,000
利益剰余金	3,129,057	2,632,253
自己株式	△32,160	△32,160
株主資本合計	4,196,296	3,699,492
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	4,294	△21,345
評価・換算差額等合計	4,294	△21,345
純資産合計	4,200,591	3,678,146
負債純資産合計	9,492,911	7,895,390

(2) 四半期損益計算書
【第２四半期累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自 平成21年11月１日 至 平成22年４月30日）	当第２四半期累計期間 （自 平成22年11月１日 至 平成23年４月30日）
売上高	7,913,941	9,444,167
売上原価	5,653,409	6,503,018
売上総利益	2,260,532	2,941,149
販売費及び一般管理費	1,544,570	1,863,329
営業利益	715,961	1,077,819
営業外収益		
受取利息	2,130	3,008
協賛金収入	27,229	37,007
その他	19,111	17,572
営業外収益合計	48,471	57,588
営業外費用		
支払利息	19,788	14,156
その他	1,580	249
営業外費用合計	21,368	14,405
経常利益	743,064	1,121,002
特別利益		
有形固定資産売却益	2,238	－
特別利益合計	2,238	－
特別損失		
有形固定資産除却損	417	418
ソフトウエア除却損	1,670	6,827
店舗移転損失	7,590	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	23,347
災害による損失	－	34,304
特別損失合計	9,679	64,898
税引前四半期純利益	735,623	1,056,103
法人税等	334,095	465,257
四半期純利益	401,528	590,845

【第２四半期会計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期会計期間 （自　平成22年２月１日 至　平成22年４月30日）	当第２四半期会計期間 （自　平成23年２月１日 至　平成23年４月30日）
売上高	3,640,915	4,053,246
売上原価	2,657,208	2,827,186
売上総利益	983,707	1,226,059
販売費及び一般管理費	787,694	946,716
営業利益	196,012	279,342
営業外収益		
受取利息	1,313	1,732
協賛金収入	20,020	8,024
その他	11,621	11,089
営業外収益合計	32,954	20,846
営業外費用		
支払利息	8,963	7,189
その他	780	194
営業外費用合計	9,743	7,383
経常利益	219,224	292,805
特別利益		
有形固定資産売却益	2,238	－
特別利益合計	2,238	－
特別損失		
有形固定資産除却損	291	418
ソフトウエア除却損	1,670	－
災害による損失	－	34,304
特別損失合計	1,962	34,723
税引前四半期純利益	219,499	258,082
法人税等	100,789	115,121
四半期純利益	118,710	142,960

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自 平成21年11月１日 至 平成22年４月30日）	当第２四半期累計期間 （自 平成22年11月１日 至 平成23年４月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	735,623	1,056,103
減価償却費	63,302	93,115
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,170	1,980
退職給付引当金の増減額（△は減少）	4,500	5,151
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△208,125	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	336	△218
受取利息及び受取配当金	△2,130	△3,008
支払利息	19,788	14,156
有形固定資産除却損	417	418
無形固定資産除却損	1,670	6,827
店舗移転損失	7,590	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	23,347
有形固定資産売却損益（△は益）	△2,238	－
売上債権の増減額（△は増加）	△17,938	△271,027
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,723	△206,392
仕入債務の増減額（△は減少）	△426,420	△406,687
長期未払金の増減額（△は減少）	208,125	－
その他	△32,704	72,392
小計	347,905	386,159
利息及び配当金の受取額	2,131	2,977
利息の支払額	△20,490	△14,139
法人税等の支払額	△105,371	△266,960
営業活動によるキャッシュ・フロー	224,175	108,037
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の純増減額（△は増加）	317	△2,212
有形固定資産の取得による支出	△239,565	△160,992
無形固定資産の取得による支出	△1,020	△53,600
建設協力金の支払による支出	△49,462	△30,000
敷金の差入による支出	△17,220	△10,000
敷金の回収による収入	－	10,000
その他	35,034	25,507
投資活動によるキャッシュ・フロー	△271,916	△221,297
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	200,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△192,857	△150,000
リース債務の返済による支出	△7,356	△11,619
配当金の支払額	△56,742	△91,829
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,956	146,551
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△104,698	33,290
現金及び現金同等物の期首残高	411,923	478,094
現金及び現金同等物の四半期末残高	307,225	511,385

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、カー用品等販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第１四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年３月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年３月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況

①品種別売上高

	前第２四半期累計期間 自　平成21年11月１日 至　平成22年４月30日		当第２四半期累計期間 自　平成22年11月１日 至　平成23年４月30日	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
タイヤ	4,258,116	53.8	5,565,488	58.9
ホイール	2,755,668	34.8	2,829,735	30.0
用品	368,058	4.7	373,429	4.0
作業料	532,097	6.7	675,513	7.1
合　　計	7,913,941	100.0	9,444,167	100.0

②販路別売上高

	前第２四半期累計期間 自　平成21年11月１日 至　平成22年４月30日		当第２四半期累計期間 自　平成22年11月１日 至　平成23年４月30日	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
店舗売上	4,731,459	59.8	5,442,164	57.6
通販売上	2,127,032	26.9	2,416,508	25.6
業販売上	1,055,449	13.3	1,585,493	16.8
合　　計	7,913,941	100.0	9,444,167	100.0